

## 船舶事故調査報告書

平成23年4月14日  
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決  
 委員 横山 鐵 男（部会長）  
 委員 山本 哲 也  
 委員 石川 敏 行

事故種類	乗揚
発生日時	不明（平成22年6月29日 午後～30日 09時ごろの間）
発生場所	佐賀県佐賀市沖の有明海 佐賀市広江港口灯台から真方位311° 800m付近 （概位 北緯33° 10.3′ 東経130° 16.3′）
事故調査の経過	平成22年7月1日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 <sup>ちょうこう</sup> 長幸丸、2.1トン KM3-52692（漁船登録番号）、個人所有 7.92m（Lr）×2.39m×0.79m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数50、昭和59年5月21日
乗組員等に関する情報	船長 男性 69歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和51年4月30日 免許証交付日 平成21年3月24日 （平成26年12月14日まで有効）
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、熊本県天草市沖で僚船4隻と共に操業していたが、僚船が、雨と濃霧で視界が悪くなったため、平成22年6月29日08時ごろ帰港したものの、本船は、09時ごろに他の漁船が確認した以後行方不明となり、16時30分ごろ、船長の家族から本船が帰港しない旨の連絡を受けた所属の漁業協同組合が海上保安庁に通報し、僚船、巡視艇等が捜索を行ったが発見できなかった。 本船は、翌30日09時00分ごろ、佐賀市干潟よか公園の護岸から約200m沖の有明海の干潟に乗り揚げているのが同公園から目撃された。また、船長は、10時10分ごろ、潟スキーに乗ってムツゴロウ漁を行っていた地元漁業者が本船に近づいてきた際、本船の位置や天草市の方向について尋ねていた。 船長は、11時35分ごろ、干潟よか公園の護岸から約25m沖の干潟で倒れているのが発見され、救急車によって病院に搬送されたが、溺死と検案された。

<p>気象・海象</p>	<p>気象：天気 曇り、風向 南～南東、風力 2～4  海象：上げ潮の末期（6月30日 09時00分ごろ）</p>	
<p>その他の事項</p>	<p>本船は、ふだん天草市沖で操業し、佐賀市沖で操業することはなかった。</p> <p>本船の操業場所から本船が発見された場所までは、約80km離れていた。</p> <p>本船は、磁気コンパスを装備していたが、レーダー及びGPSは装備しておらず、船長は、ふだん周囲の地形を見て航行していた。</p> <p>本船は、本事故当時、無線機の故障等で通信手段がなかった。また、本船は、発見時、アンカーは船内にあって投錨していなかった。</p> <p>本船は、出港時に軽油約20ℓを補給していたが、佐賀市沖で発見されたときは200ℓ入り燃料タンクがほぼ空の状態であった。</p> <p>船長は救命胴衣を着用しておらず、救命胴衣は船内にあった。</p> <p>干潟よか公園沖の有明海は、干潟になっていた。</p>	
<p>分析</p>	<p>乗組員等の関与  船体・機関等の関与  気象・海象の関与  判明した事項の解析</p>	<p>不明  不明  不明</p> <p>本船は、天草市沖で操業したのち、視界が悪くなったこと、及びGPSなどの船位を確認する機器を装備していなかったことから、船位がわからない状態で航行を続け、佐賀市沖の干潟に乗り揚げた可能性があると考えられるが、船長が死亡したことから、乗揚に至る状況を明らかにすることはできなかった。</p> <p>本船は、29日09時ごろに天草市沖で確認されたのち、翌30日09時ごろに佐賀市沖で乗り揚げているのが発見されたが、天草市沖から佐賀市沖まで移動するのに数時間を要すると考えられることから、29日午後から30日09時ごろの間において、乗り揚げたものと考えられる。</p> <p>船長の死因は、溺死であった。船長は、乗揚後、陸に向けて干潟を歩行中、溺死したものと考えられる。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、本船が、天草市沖で操業したのち、佐賀市沖の有明海の干潟に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。</p>	